

地球温暖化対策実施状況報告書

令和 2 年 9 月 7 日

香川県知事 殿

報告者

住所 香川県坂出市室町三丁目 5 番 2 8 号

氏名 社会医療法人財団大樹会

社会医療法人財団大樹会

理事長 松浦 一平 印

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	83 医療業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	総合病院
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	令和 2 年 9 月 14 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：ホームページ
連絡先	担当部署 施設管理 担当者 近藤 利史 電話番号 0877-46-1011 FAX番号 0877-45-6410 電子メールアドレス shisetsu@kaisei.or.jp

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	総合病院回生病院	香川県坂出市室町三丁目5番28号	第二種
2			
3			
4			
5			
6			
② その他の事業所			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和元年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. 冷温配膳車の更新(2台)。2. 排水ポンプの更新(5台)。3. エアコン室外機内部部品交換(5台分)。4. エアコン設定温度のチェック。5. 電化製品の更新。6. 遮熱カーテンの取り付け(病室8部屋)					
温室効果ガスの吸収等	区分					実施年度(令和元年度)	
						二酸化炭素換算(t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
	J-クレジットの購入				t-CO ₂		
	合計				① t-CO ₂		
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区分	基準年度 (平成29年度)	目標年度 (令和2年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和元年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 3,632 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 3,540 t-CO ₂	97.5	(二酸化炭素換算(t))③ 3,536 t-CO ₂	97.4	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 3,632 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 3,540 t-CO ₂	97.5	(二酸化炭素換算(t))③-① 3,536 t-CO ₂	97.4	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の 増減理由	令和元年度は冬場の暖冬でエアコンの稼働台数および稼働時間が少し減少したため、使用電力量が減少した。四国電力の電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算出排出量の基づいた係数の基本排出係数が基準年度より低くなっているため、温室効果ガス排出量が基準年度比2.6%の減少となった。						
特記事項							

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書(当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書)に記載した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由(計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。)を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。